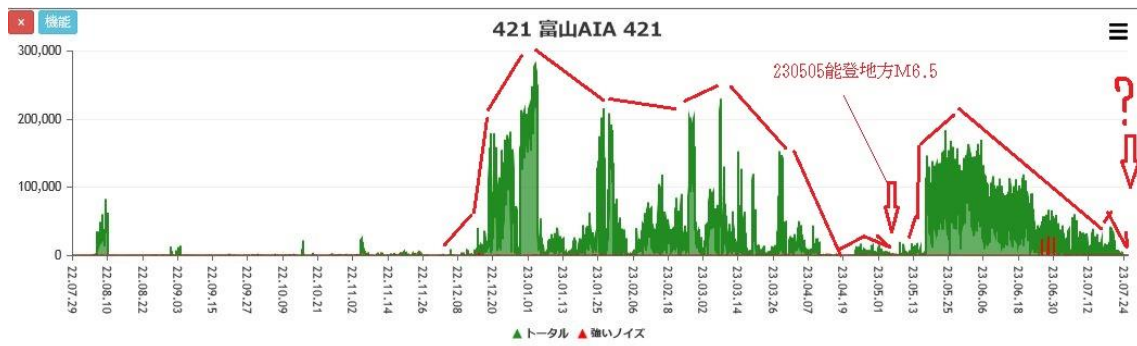


7/19 逆ラジオ通信 No.27 W-230719 では

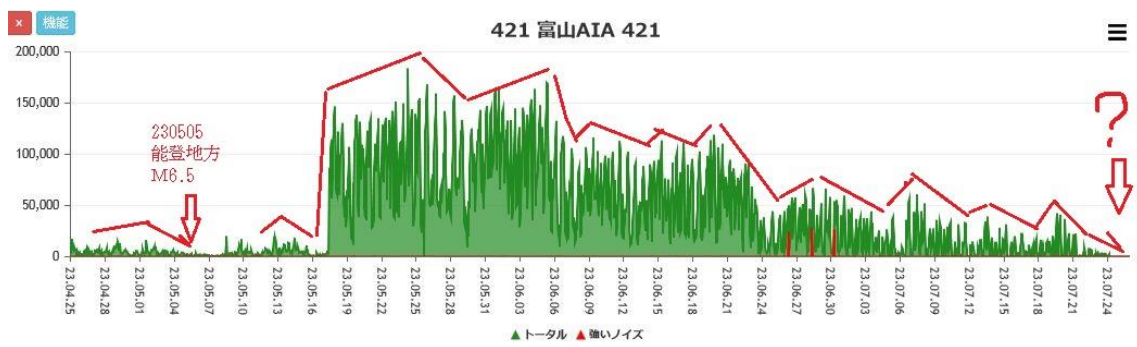
- > ・震源：長野周辺、又は富山県、石川県の日本海側、
- > ・地震の規模；M6 クラス
- > ・発震予想：7月19日より5日間程度

と、予想して、本日7月24日午前の現在でまだ発震はありません。しかし各データはリバウンドや再上昇などが無く減衰を続けていて、そろそろ発震の可能性が高くなってきた、と思われます。お知らせのアップもその7まで来てしまいました。以下に、関連すると思われるデータを載せますので参考にしてください。

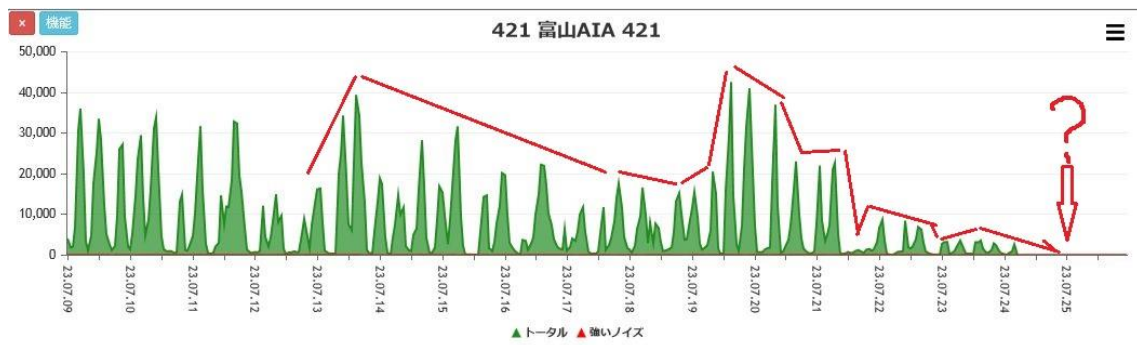
富山 360 日間データ



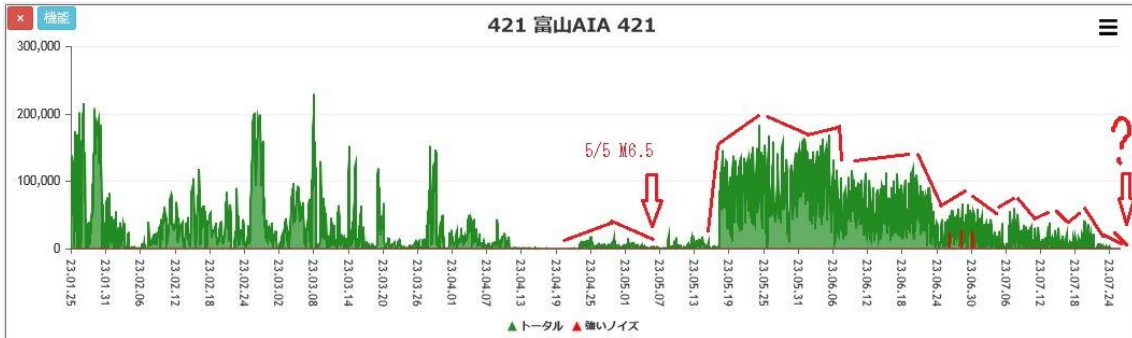
富山 90 日間データ



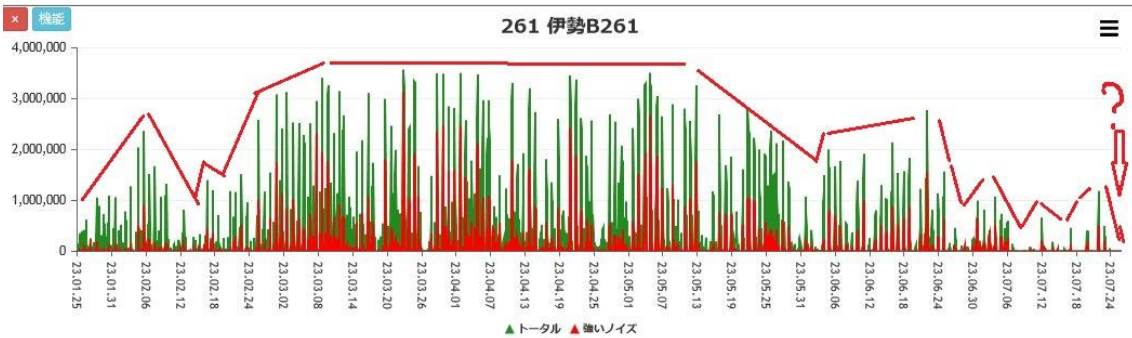
富山 15 日間データ



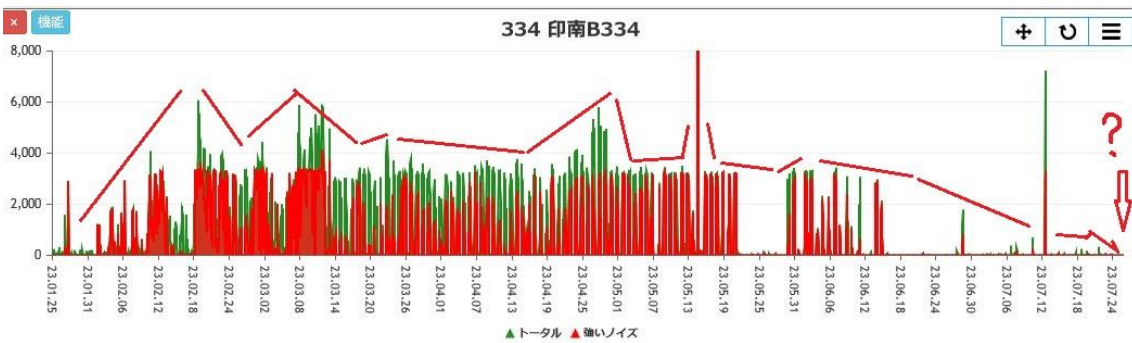
富山 180 日間データ



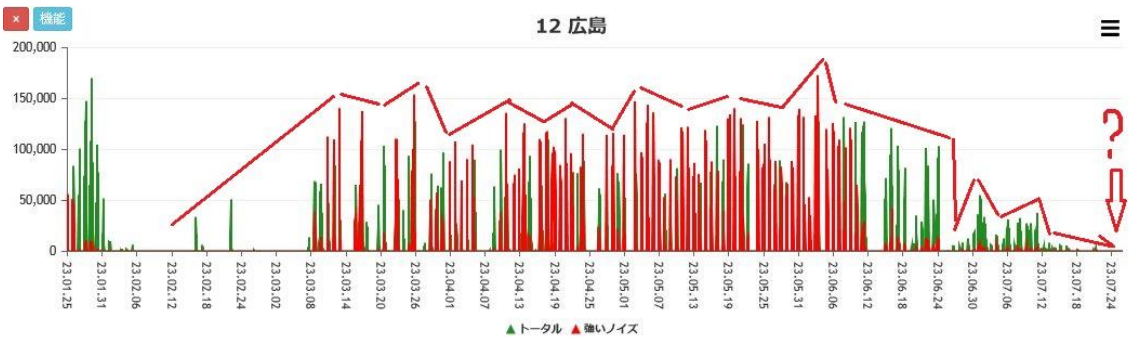
その他の関連データ：伊勢B261 180日間データ



印南 180 日間データ

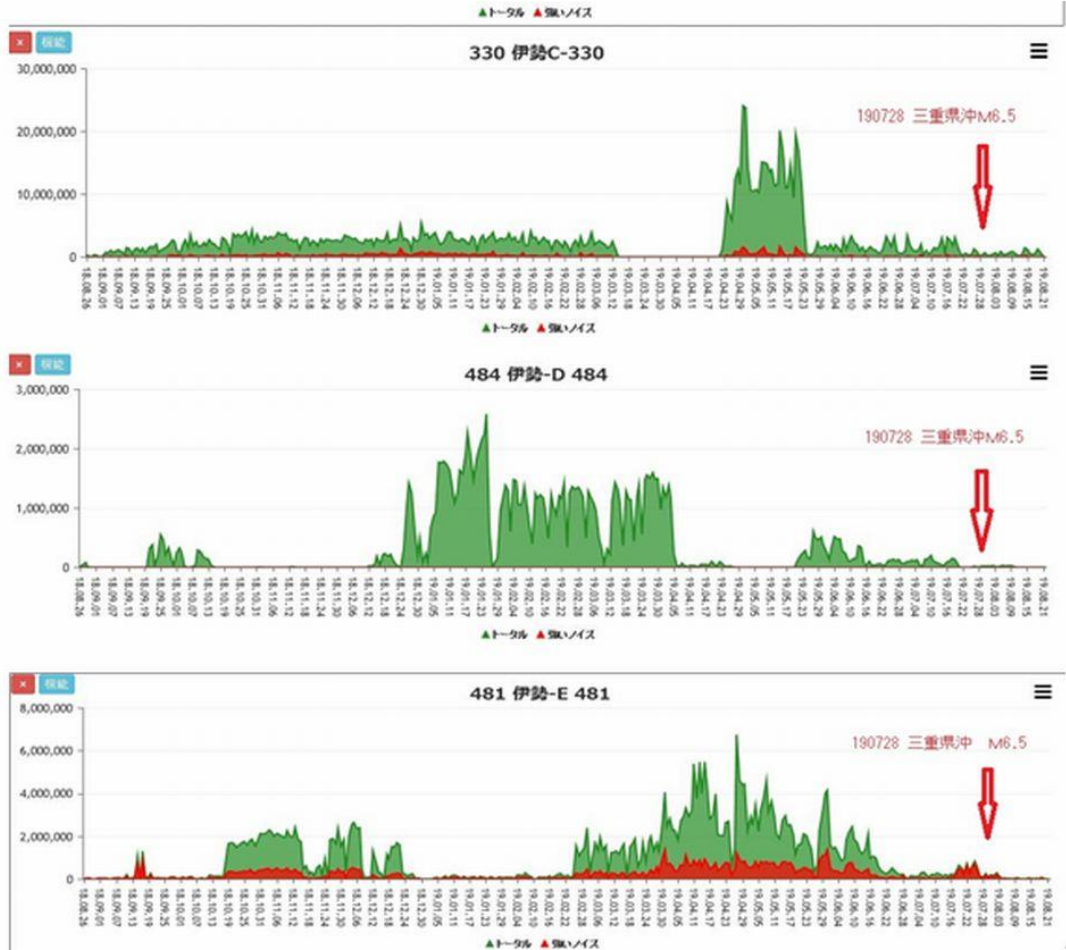


広島 180 日間データ



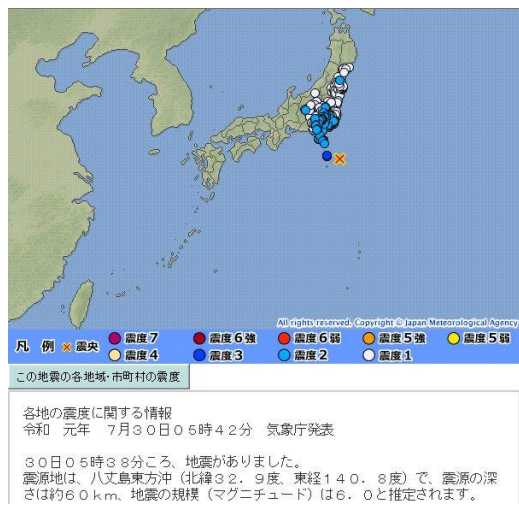
参考>類似事例：2019.7.27 三重県南東沖M6.5 と 0730 八丈島東方沖M6.0 について

なお、今回と良く似た事例で、伊勢の複数のデータが一斉に減衰してきた事例として、2019年7月28日の三重県南東沖M6.5（大深度420km）と7月30日の八丈島東方沖M6.0が続けて発生した事例があります。



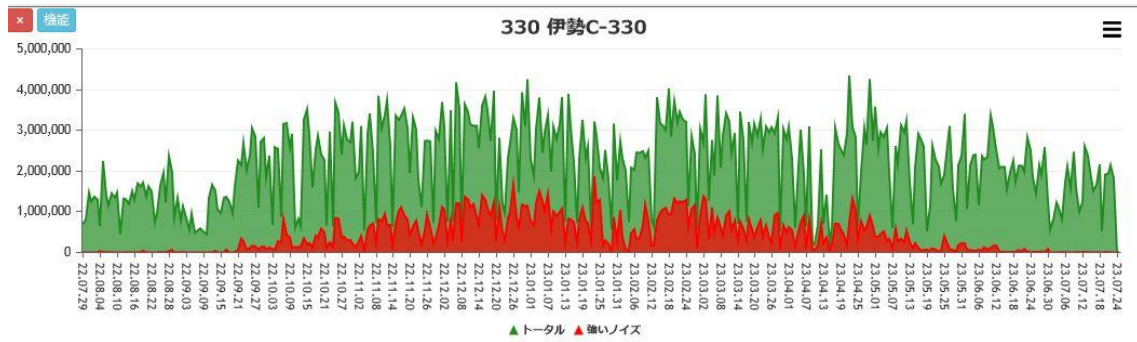
2019.7.27 三重県南東沖M6.5

2019、0730 八丈島東方沖M6.0





今回の伊勢の4データ（180日間）：伊勢B261, B262, C300, D484



従って、今回も、2019年7月の例からすると、富山のデータは5月5日と同じ能登半島近辺のM6クラスを捉えていて、伊勢など太平洋側のデータは三重県沖などのM6クラスの地震の予兆を捉えている可能性があります。